

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	なぎさ通り保育園
所在地	品川区南品川2-15-6

1 活動のテーマ

芋掘り

<テーマの設定理由>

毎年神奈川県津久井浜観光農園で4.5歳児が芋掘りを行っている。さつまいもの収穫の前に、4.5歳児の異年齢グループで成長過程を調べたり、製作したりする中で親しみや興味を持つことを期待して設定した。また収穫後は、調理をする中で、芋掘り後も触れ合いを通して、興味が深まることを期待したい。5歳児は、2回目の芋ほりとなるため、経験談を4歳児に伝え、様々な活動に広がりを持たせるようにするため、異年齢の活動にする。

2 活動スケジュール

9月：さつまいもの成長記録を観ながらさつまいものことを知り興味を持つ。（動画視聴）
図鑑を通して、さつまいもについて自分たちで調べることで興味や関心を深める。
芋ほりごっこを通して芋掘りのイメージを持ち、芋ほりを楽しみにする。
10月：芋掘り行う。収穫したさつまいもを自分たちで調理し、食の関心を高め、食べ物の大切さを知る。（クッキング）

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

さつまいもの成長記録：動画を通して成長の過程をわかりやすく伝える。図鑑を準備し、本棚に置くことで手にとりやすい環境を作っていく。図鑑を通してこどもたち自身で成長の様子やさつまいもについて知ること興味関心を高めていく。（図鑑、動画、プロジェクター）
芋ほりごっこ：昨年度芋ほりを経験した年長組に畑の様子や芋がどのようにして育っているのか聞きながら製作することで異年齢の交流を深められる機会を持てるようにする。年長児も自分の体験を生かして年下の子を手伝ったり教えたりできるような雰囲気作りを行い、自然と異年齢の関りが増えていけるようにする。（画用紙、花紙、ポリ袋、新聞紙、毛糸、ヒモ、セロハンテープ、ハサミ、のり）
芋ほり：実際に芋ほりを体験することで芋ほりごっこと異なる部分を見つけ新たな発見へと繋げていく。（軍手、スコップ、足ふき、ビニール袋、ハンドソープ、ペーパータオル）
クッキング：芋ほりで収穫したさつまいもを調理することで嗅覚、味覚からもさつまいもについて知る機会を持てるようにする。（ピューラー、包丁、ボール、さつまいも、アルミカップ（スイートポテト）

4 探究活動の実践

<活動の内容>

○動画視聴

動画を通してさつまいも芋の成長する様子を見ながら、「さつまいも芋はなすと違って土の中にできるんだね」と自分たちが栽培している野菜と育ち方が違うことを発見していました。

○芋ほりごっこ

新聞紙と画用紙を使ってさつまいも芋を作ることを伝えると「紫と茶色どっちがいいかな」「形はどうしようかな」などさつまいも芋をイメージする姿がみられました。さつまいも芋が完成すると子ども同士で形を見せ合って違いを楽しむことができていました。作ったさつまいも芋を土に見立てた段ボールの中に入れ、芋ほりごっこをすると掘る真似や引っ張り出す真似をすることができていました。

○芋ほり

畑に到着後芋を掘り始めてさつまいも芋の顔が見えてくると「さつまいもだ」と嬉しそうに声を上げていました。なかなか掘り起こせないさつまいも芋に「まだでてこない」と苦戦しながらも自分たちで最後まで芋を掘り起こすことに成功すると嬉しそうに掘った芋を見せてくれたり、一本の蔓にたくさんのさつまいも芋がついている様子を見て喜んでいました。

○芋餅づくり

自分たちで収穫したサツマイモを使って芋餅を作りました。蒸した芋を子どもたちにつぶして、丸めてもらいました。一人一人芋をつぶし、こねて形を作っていくと「こねるとパンみたいだね」「いい匂いするね」など感触や匂いを楽しんでいました。完成した芋餅に甘いたれをかけて、おやつで食しました。「もちもちしてるのに、おいしいもの匂いする」「おいしいね」と喜んで食べていました。いつもより残食が少なかったです。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)





<振り返りによって得た先生の気づき>

動画視聴により、土の中で芋が育つことや、ツルがあり、長く伸び、成長していくことを知らない子が多くいました。芋ほりごっこでは、動画視聴をしたことで、より芋への表現が豊かになったように感じました。自分たちで作ったお芋で、芋ほり遊びをしたことで、芋ほり遠足への期待に胸が膨らんでいました。また実際にお芋堀りを経験することで掘る難しさや土の中で育つ様子、さつまいもの重さなどを身をもって体験することが出来ました。野菜を収穫する大変さも感じる事ができました。お芋のおやつは苦手な子もいましたが、自分で収穫し、クッキングしたおやつは、より美味しく感じたようで、いつもよりよく食べ、おかわりもしていました。成長の気づきから始まり、ごっこ遊びや芋ほり体験、クッキングなど、様々な形でさつまいもについて触れることができ、今後の食への興味関心を高めていきたいと思いました。